

# 予算決算委員会総務文教分科会記録

[第1日目]

1 日 時 令和2年3月13日（金曜日）

開 会	午前 9時58分
休 憩	午前10時32分
再 開	午前10時51分
休 憩	午前11時11分
再 開	午前11時32分
散 会	午前11時50分

2 場 所 第1委員会室

3 出席委員 9人

分科会長	高 道 秋 彦
分科会副会長	松 井 桂 将
委 員	久 保 大 憲
//	上 野 蛍
//	成 田 光 雄
//	横 野 昭
//	村 石 篤
//	赤 星 ゆかり
//	有 澤 守

4 欠席委員 0人

5 地方自治法第105条の規定により出席した者  
議 長 舎 川 智 也

## 6 説明のため出席した者

### 【選挙管理委員会事務局】

事務局長	作田 正樹
参事（事務局次長）	荒木 英仁

### 【企画管理部】

部長（選挙管理委員会事務局理事併任）	西田 政司
部次長	砂田 友和
部次長（行政改革・公共施設再編・人事管理担当）	渡辺 康裕
未来戦略企画監	山添 俊之
情報企画監	小倉 康男
参事（企画調整課長）	山本 貴俊
参事（情報統計課長）	藤沢 晃
参事（ガラス美術館副館長）	木村 昌弘
参事（ガラス美術館次長）	梅沢 宗仁
職員課長	鎌田 泰史
文化国際課長	堀田 英樹
未来戦略室長	森 俊彦
職員研修所長	平井 聖子
企画調整課主幹（調整担当）	開発 則幸

### 【教育委員会】

事務局長	立花 宗一
事務局次長（総務・社会教育担当）	酒井 秀祐
事務局次長（学校教育担当）	豊田 高久
教育総務課長	光岡 伸一
学校教育課長	大久保 秀俊
生涯学習課長	竹井 博文
教育総務課主幹（調整担当）	中山 武史
学校施設課長代理	柳瀬 貴嗣

**【財務部】**

部長	中田 貴保
理事（部次長）	田中 伸浩
部次長（税務担当）	池田 太
参事（資産活用担当）	奥沢 靖
参事（管財課長）	杉本 周児
財政課長	清水 裕樹
財政課主幹（調整担当）	卜蔵 雄治

**7 職務のために出席した者**

**【議会事務局】**

議事調査課長代理	石黒 隆司
議事調査課主査	大塚 宏明
議事調査課主査	金井 沙織

## 8 会議の概要

分科会長 時間は早いですけれども、全員おそろいなので、ただいまから、令和2年3月定例会の予算決算委員会総務文教分科会を開会いたします。

審査に先立ち、分科会記録署名委員に、横野委員、村石委員を指名いたします。

なお、ただいま指名いたしました署名委員が欠席の場合は、当日出席の年長委員にお願いいたします。

当分科会に送付されました各案件の審査については各部局単位とし、お手元に配付してあります分科会審査順序のとおり行う予定であります。

本日は、選挙管理委員会事務局、企画管理部、教育委員会、財務部並びに歳入等の補正予算等分の議案の審査を行いますが、質疑については、議案に直接関係あるものだけにお願いいたします。

なお、委員及び当局の皆さんに申し上げますが、質疑・答弁及び説明については、簡潔・明瞭に行っていただきますようよろしくお願いいたします。

これより、選挙管理委員会事務局所管分の議案の審査を行います。

議案第55号 令和元年度富山市一般会計補正予算（第4号）、第1条歳入歳出予算の補正、歳出第2款総務費中、選挙管理委員会事務局所管分  
を議題といたします。  
これより、当局の説明を求めます。

選挙管理委員会 〔挨拶〕  
事務局長

選挙管理委員会 〔議案書及び議案説明資料により説明〕  
事務局次長

分科会長 これより、質疑に入ります。  
質疑はありませんか。

村石委員 それでは、参議院議員選挙費について伺います。  
今ほど説明の中では、開票事務が順調にいったということで、仕事が終われば係ごとに解散をするなどして、恐らく超過勤務手当が減ったということがあると思います。  
それと、委託料と備品購入費で入札差金があったということですが、この補正額2,353万8,000円の概略的な内訳を教えてください。

選挙管理委員会  
事務局次長

参議院議員選挙費につきまして、主な補正の要因—金額が大きなものとしたしましては、職員手当等が903万円の減額補正となります。これにつきましては、説明の際に開票事務のことを申し上げましたが、それ以外にも、各投票区の投票事務従事者数を地域ごとにバランスを取るなど精査、見直しをしたといたしますか、最低必要数でというような形に精査をさせていただいています。

そういった努力をさせていただいているものも含めて補正が出ているほか、賃金では208万円の減額補正となります。これにつきましては、予算計上時は4名の方にアルバイトをお願いしようと思っていたところ、実際には3名しかお願いできなかったという関係もございまして、減額になっているものです。それから、需用費におきましては257万円ほどの減額補正でございますが、これについては入場券等の印刷関係の入札差金や、それぞれの投票区で使う消耗品の購入などを必要最小限にとどめさせていただいているというような努力をさせていただいているものです。また、委託料の273万円の減額補正につきましては、分類機や投票用紙の交付機などの点検作業の中で努力して、点検の台数を少し抑えさせていただいたりとか、そういった形

で工夫をさせていただいているものです。  
最後に、備品購入費で432万円の減額補正  
になりますが、これにつきましてはパソコン  
の入札差金になります。

分科会長      ほかにありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

分科会長      ほかにないようですので、これをもって議案  
の質疑を終結いたします。  
これより、議案第55号中選挙管理委員会事  
務局所管分の意見の表明を行います。  
意見の表明はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

分科会長      意見の表明なしと認めます。  
以上で、総務文教分科会選挙管理委員会事務  
局所管分を終了いたします。  
選挙管理委員会事務局の皆さんは退室願いま  
す。  
この後、企画管理部所管分に入ります。  
説明員を交代いたしますので、しばらくお待ち  
ください。

〔選挙管理委員会事務局退室／

企画管理部入室〕

分科会長 これより、企画管理部所管分の議案の審査を行います。

議案第55号 令和元年度富山市一般会計補正予算（第4号）、第1条歳入歳出予算の補正、歳出第2款総務費中、企画管理部所管分を議題といたします。

これより、当局の説明を求めます。

企画管理部長 〔挨拶〕

企画管理部次長 〔議案第55号中  
企画管理部所管分の概要について、  
議案概要書及び議案説明資料により説明〕

職員課長 〔議案第55号中  
総務一般管理費（退職手当等）について、  
職員管理費（台風被害に伴う災害派遣特別旅費等）について、  
議案概要書により説明〕

文化国際課長 〔議案第55号中  
文化事業基金の積立について、  
アーバンプレイス天井耐震改修工事負担金に

ついて、  
議案説明資料により説明]

分科会長 これより、質疑に入ります。  
質疑はありませんか。

横野委員 ただいまの文化事業基金の積立てについて、今のところ、令和元年度末の現在高見込みは1億4,440万9,000円とあるのだけれども、このほかに、例えば積立てを何か企画しているとか、まだ増額する予定があるのかということが第1点。  
それともう1つは、オーバード・ホール25周年記念公演にオリジナル作品を予定しておられますけれども、富山市に残る企画、要するに、著作権が富山市に残るのか残らないのかということも含めて、富山市にとっていいものであるのかということと、富山市民の歌というわけではないけれども、例えばそういったものを何か記念に残すようなイメージでのオリジナル作品という形に何とかならないのかということ併せて質問します。

文化国際課長 まず1点目でございますけれども、積立てについてでございますが、令和元年度末現在高見込みは1億4,440万9,000円でご

ざいまして、今、これ以上積み立てる予定は  
ございません。

もう1点、オリジナル作品が市に残る作品に  
なるのかということでございますけれども、  
今回計画しておりますのは、クラシックとポ  
ップスを組み合わせたオーバード・ホールオ  
リジナルのミュージカル調の公演を予定して  
おりまして、日本有数の設備を有する当ホー  
ルにふさわしい公演を行いたいと考えている  
ところでございます。

オーバード・ホールの芸術監督であります須  
藤 晃氏や、これまで当ホールが培ってきた  
ノウハウや人的ネットワークを最大限に生か  
して、質の高い舞台芸術を提供することで、  
次の世代を担う若者が郷土への誇りを感じら  
れるような公演にしたいと考えておりまして、  
令和2年度の当初予算に計上しておりますけ  
れども、脚本、作曲、演出等を新規にオリジ  
ナルで作ることを考えているところでござい  
ます。

横野委員

オリジナル作品を創られることについては、  
やぶさかでないのですけれども、問題はお客  
さんに、多くの人に見てもらうための工夫で  
す。単価を高くするのではなくて、市がこれ  
だけ補助金を出していることで、例えば1，

000円、2,000円程度で見れる作品になるのか、5,000円、7,000円という高額なものになるのか、それによって、市民の芸術文化に対する考え方が少し変わってくると思うのです。これだけ補助金を出すのであれば、料金を下げていただく努力をぜひとも計画に上げていただきたいと思います。

収支バランスを考えた上で、オリジナル作品を創ってもらうことも、市民のためになるのだということを考えていただきたいと思いますので、また検討してください。

久保委員

企画管理部長にお伺いしたいと思うのですが、この文化事業基金の積立てについて、先ほど担当課長から次の世代を担う若者の心に残るようなというお言葉がありました。

オーバード・ホールは市民にとって大変親しみやすいシビックプライドというか、シンボリックな存在でもありますし、例えばお金をかけずに一毎年10月、ちょうど秋頃にですかね、各中学校で合唱コンクールが行われています。合唱コンクールでは必ず賞がついて、最優秀賞を取ったクラスは大変誇りを持って、よかったなと言っているところに、例えばオーバード・ホールの25周年事業として、教育委員会に呼びかけて、最優秀の学校を幾つ

かピックアップして、その場で合唱をしていただいて、市として表彰をして、何なら文化事業基金の積立ての中から学校予算に少しサービスしてあげるといようなおまけもつけてあげる。そうすれば、保護者であったり市民の皆さんは、その姿勢を見て、学校教育であったり、ふるさとに対する思いというものが、よりできると思います。

ただし、これは企画管理部が単独でできる話でもないですし、今ここで回答できることではないと思いますので、そういった提案について御検討いただきたいと思います。部長から一言いただけないでしょうか。

企画管理部長

先ほど文化国際課長からは次の世代を担う若者へということでも、今の芸術監督の須藤監督は、とにかく富山の若者たちに本物の音楽、作品を見せたいという思いからそれが監督の一番の根底にあってオーバード・ホールでは、これまでもいろいろな企画作品をやってきました。

25周年に向けても恐らくそれが根底に出てくるのではないかと思うのですけれども、まずは若者たちをターゲットにした作品になっていくのだろうというふうに思っています。今、委員から御提案のございましたことにつ

きましては、まさに若い人たちのこれからのことを見据えた中での御提案だというふうに理解しますので、現時点でどこまでできるかわかりませんが、それは御提案として、ひとつ検討をしていきたいと思っております。

村石委員 議案書の19ページを御覧ください。一般管理費の職員手当等のところでは、先ほど課長のほうから説明がありまして、普通退職者にかかる退職手当一〇、一六九万円余り見込んでいたものを補正するということだったのですが、例えば去年の4月か5月時点での普通退職者の予定人数と、今年3月末で退職される実際的人数はどうなっているのか、お聞かせください。

職員課長 当初予算の内訳の数字と実際の数という表現で申し上げますと、当初予算では全体で125名分の予算を見込んでおりました。普通退職者もその内数になるのですが、現時点における退職者数の見込数としては126人ということで、予定より1名多いという状況でございます。

村石委員 人数的にはそんなに変わっていないということがわかりましたけれども、この126人の

中には、勸奨退職者もいらっしゃるのでしょうか。

職員課長 御自身で応募されて早期退職されるという方も内数として含まれておりまして、今回の退職者のうち、その人数は8名ということでございます。

村石委員 あと1点お聞きしたいのは、いわゆる退職手当の負担金の関係で、前は市民病院の職員として勤めておられた方で、今は市長部局に勤めていて、そして退職するという方は、基本的には、看護学校の職員であると考えてよろしいでしょうか。

職員課長 現在、医療系の技術職員は、割と様々な所属に配属されております。例えば保健所、まちなか診療所といったようなところも最近では医療系技術職員の職域として配置をしておりますので、看護学校だけではないということでございます。

分科会長 ほかにありませんか。

〔発言する者なし〕

分科会長            ないようですので、これをもって議案の質疑を終結いたします。  
これより、議案第55号中企画管理部所管分の意見の表明を行います。  
意見の表明はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

分科会長            意見の表明なしと認めます。  
以上で、総務文教分科会企画管理部所管分を終了いたします。

午前10時32分 休憩

~~~~~

午前10時51分 再開

分科会長            これより、総務文教分科会教育委員会所管分の議案の審査を行います。  
議案第55号 令和元年度富山市一般会計補正予算（第4号）、第1条歳入歳出予算の補正中、歳出第10款教育費、第2条継続費の補正中、第10款教育費、第3条繰越明許費の補正中、第10款教育費を議題といたします。  
これより、順次、当局の説明を求めます。

教育委員会事務局長 〔挨拶及び  
新型コロナウイルス感染症の対応に  
ついて報告〕

教育委員会事務局次長 〔議案第55号中  
(総務・社会教育担当) 教育委員会所管分の概要について、  
議案説明資料により説明〕

教育総務課長 〔議案第55号中  
学校教育情報化推進事業費について、  
議案説明資料により説明〕

学校施設課長代理 〔議案第55号中  
学校建設費について、  
トイレ環境改善事業費について、  
継続費補正(学校プール建設事業費等)につ  
いて、  
議案書及び議案説明資料により説明〕

教育総務課長 〔議案第55号中  
繰越明許費補正(教育機器特別整備充実事業  
費)について、  
議案書により説明〕

学校施設課長代理 〔議案第55号中  
繰越明許費補正(学校施設整備事業費等)に

ついて、  
議案書により説明]

生涯学習課長 〔議案第55号中  
繰越明許費補正（文化財保護事業費）につい  
て、  
議案書により説明]

分科会長 これより、質疑に入ります。  
質疑はありませんか。

赤星委員 今、学校施設課の説明の中で、高力ボルトの  
納入遅延ということが何度か出てきたのです  
けれども、これはどういうボルトで、なぜ納  
入が遅延したのかというところを少し御説明  
をお願いします。

学校施設課長代理 高力ボルトにつきましては、鉄骨をつなぐた  
めのボルトで、かなり太い大きな鉄骨同士を  
つなぎ合わせるボルトになっております。  
こちらの納入遅延につきましては、国のほう  
で東京オリンピック関係の建築工事など、大  
型の事業が続いたことから、国全体で品薄で、  
生産が追いつかないということがございまして、  
納入が遅れているということになります。

村石委員 議案説明資料の4ページをお願いします。  
トイレ環境改善事業費について、(4)整備スケジュールに、設計・整備は令和3年3月までの予定と書いてありますけれども、工事期間中における児童・生徒のトイレ利用については、やはり配慮する必要があると思っています。

すなわち、今まで使えたトイレが工事期間中は使えなくなって、子どもたちが大変になるということもあるのですけれども、そういうところはどのように考慮されているのでしょうか。

学校施設課長代理 児童・生徒への配慮につきましては、基本的に1フロアにトイレが2か所ある場合には、必ず片方ずつ、交互に工事することで、子どもたちがいるフロアのトイレ利用に影響がないように工事の計画を立てております。

1か所しかない場合につきましては、今度は、縦の移動でトイレがある直近のフロアにすぐに移動できるような形で工事の工程を組んでおりまして、できる限り影響が少ないような形でのスケジュールを立てるということで事業者とのすり合わせをしております。

村石委員 今ほど、具体的に支障のないようにするとい

うことだったのですけれども、例えば工期の期間を夏休みにするとか、冬休みにするとか、そういうような配慮はないのでしょうか。

学校施設課長代理

トイレの改修につきましては、富山市の小学校62校、中学校23校ということで、学校の全てのトイレを洋式化するという事で、1,600台のトイレを入れ替える形となります。

当然、学校への影響、学校運営にはなるべく支障がないようにスケジュールは組んでいくのですが、どうしても短期間で工事を完了するには、長期の休みだけでは工期が少し足りないということもございますので、音ですとか、先ほど説明しましたトイレの利用ということには、なるべく影響がない形で、土日ですとか、学校の時間外の時間も組み合わせながら、1年間で工事を終わられるように対応してまいりたいと思っております。

村石委員

先ほどの答弁に戻るわけですが、例えば、1フロアにトイレが2か所あったら1か所は残すとか、いろいろあるのですが、結局、生徒の数とトイレの数ということも十分考慮して、場合によっては仮設トイレを設けるとか、そういうことも考えてはどうかと

思うのですが、どうでしょうか。

学校施設課長代理 全ての学校を確認してまいりまして、現在のところ仮設トイレの利用なしで工事ができるということで、工程のほうを組んでおります。

久保委員 学校のほうでは、耐震工事から始まって、昨年はクーラーの設置と、工事が続いているわけです。今回もトイレ環境改善事業であったり、情報化に向けた無線LAN環境・電源キャビネットの整備とか、いろいろと工事が続くわけなのですけれども、やはり教育委員会の皆さんには、国の動向もしっかりと踏まえた上で、ある程度汎用性があって、都度都度、工事があまり過大にならないように、最初から将来を見据えたものでやってほしいのです。その中で、今回のトイレ環境改善事業費では、かなり築年数がたった、耐震補強をして使っているといった学校もあると思います。配管についても、例えば今回の工事をされる際に業者が気づいて、工事が終わってトイレを使い始めたら今度は配管工事をしないとイケないというような話になると、これはまた市民への説明がつきづらくなってきますので、工事をする際には、やはり配管の部分に一給排水の部分ですね一問題がないかということ

も同時にチェックをしていただけないかなというふうに思うのですが、いかがでしょうか。

学校施設課長代理 今ほど御質問ありました配管につきましては、築年数が古い学校については一配管は開けてみないと分からないということもございますが、一定程度の配管の工事はこの費用の中に含んでおります。

ただし、やはり工事を進めていく上で新たに出てくるものもありますので、その場合は、また予算措置等を考えていきたいと思っております。

久保委員 最後は要望なのですが、そうなってくると、やはり工期との兼ね合いも出てくると思います。将来的に子どもにとって最大の利益を取っていただけるように、そこも柔軟に対応していただきたいなというふうに思います。これは要望です。

赤星委員 先ほどの続きですけれども、高力ボルトの件で、今後、確実に納入される見通しについてお聞きしたいなと思っております。いかがでしょうか。

学校施設課長代理 高力ボルトの納期につきましては、当初遅れ

が出ていたものの、予定しております月岡小学校、山室中部小学校、水橋中学校につきましては納入の見通しが立ったことから、繰越し及び工期の設定等をしております。

分科会長      ほかにないようですので、これをもって議案の質疑を終結いたします。  
これより、議案第55号中教育委員会所管分の意見の表明を行います。  
意見の表明はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

分科会長      意見の表明なしと認めます。  
以上で、総務文教分科会教育委員会所管分を終了いたします。

午前11時11分 休憩

~~~~~

午前11時32分 再開

分科会長      これより、総務文教分科会財務部所管分並びに歳入等の議案の審査を行います。  
議案第55号 令和元年度富山市一般会計補正予算（第4号）、第1条歳入歳出予算の補正中、歳入全部、歳出第2款総務費中、財務

部所管分、第5条地方債の補正  
を議題といたします。  
これより、順次、当局の説明を求めます。

財務部長           〔挨拶〕

財務部次長       〔財務部所管分の概要について、  
議案説明資料により説明〕

管財課長           〔議案第55号中  
訴訟に係る弁護士への報酬金について、  
議案説明資料により説明〕

財政課長           〔議案第55号中  
一般会計補正予算（歳入・地方債）について、  
議案概要書により説明〕

分科会長           これより、質疑に入ります。  
質疑はありませんか。

村石委員           議案説明資料の2ページには、報酬金38万  
5,000円を支払うものとして、この金額  
の根拠は委任契約書に基づくということが記  
載されています。  
私もよく分からないのですけれども、委任契  
約書では、勝訴した場合とか、敗訴した場合

とか、あるいはいろいろな場合で金額が決まっていると思うのですが、これはどのようなことで38万5,000円になったのか教えてください。

管財課長      もともとの委任契約は70万円なのですが、先ほども少し申し上げましたけれども、全面的な勝訴ではなく、こちらから請求した金額の大体半分を勝ち取ったという形ですので、もともとの半分の金額で35万円、それに消費税ということで、38万5,000円ということになっております。

赤星委員      議案概要書の4ページで、今御説明いただいた中では、歳入の地方交付税が国の算定で増額となったということでしたが、その増額となった算定の要因というのはどのようなことが考えられるのでしょうか。

財政課長      まずもって、当初予算に計上いたします地方交付税の見積りといたしましては、国の地方財政計画でありますとか、前年度の算定実績に基づいて予想といたしますか、見積りを立てております。そういった中で、基準財政需要額に計上する金額を見積もることはなかなか難しい状況でございます。

今回、算定結果と大きくずれが出てきたという部分につきましては、その他教育費という費目がございまして、幼稚園の経費等を計上しております基準財政需要額でございますが、そちらの施設型給付費の、新しい支援制度の施設型給付費に係る単価が増額となって、今回、実際の算定に用いられたということで、当初予算の見積りよりも需要額が若干大きくなっております。

もう1点は、社会福祉費という費目がございまして、そちらは保育所費等を見ているところでございます。こちらにつきましては、保育士の方の処遇改善の経費の加算でございますとか、子ども家庭総合支援拠点というものを今年度から設置するという形になって、それが経費に盛り込まれたというところが見積り時にはなかなか見込めずに、今回、需要額として当初予算よりも増額になったということが一番大きく乖離していたところの要因となっております。

村石委員

1点だけ教えてください。

一般会計補正予算（歳入・地方債）の説明で、財政課長から、寄附金の補正については呉羽丘陵フットパス連絡橋関連の基金に寄附金があったということでした。建設委員会の中で、

今までに金額が出ていたのかもしれませんがけれども、改めて金額が幾らか分かれば教えていただけないでしょうか。

財政課長 今回の呉羽丘陵フットパスの連絡橋整備基金費への寄附金は3億円でございます。

村石委員 そうしたら、前は2億円あって、今回3億円になったわけですから、ここで聞いていいのかどうか分かりませんが、合わせて5億円という基金になったと考えてよろしいでしょうか。

財政課長 5億円の残高になっております。

分科会長 ほかにありませんか。

〔発言する者なし〕

分科会長 ないようですので、これをもって議案の質疑を終結いたします。

これより、議案第55号中財務部所管分並びに歳入全部及び地方債の補正の意見の表明を行います。

意見の表明はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

分科会長

意見の表明なしと認めます。

以上で、総務文教分科会財務部所管分並びに歳入等の議案の審査を終了いたします。

これで、3月定例会の当分科会に送付されました補正予算等分の議案の審査は終了いたしました。

委員各位に御相談申し上げます。

分科会長報告については、正・副分科会長に御一任願いたいと思いますが、いかがでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

分科会長

それでは、そのように取り計らいます。

来週3月19日木曜日は、午前10時から予算決算委員会総務文教分科会及び総務文教委員会を開き、議会事務局、監査委員事務局、選挙管理委員会事務局、企画管理部、教育委員会、財務部及び出納課所管分並びに歳入等の当初予算等分の議案の審査を行います。

本日は、これをもって散会いたします。